

長引く風邪、それって結核かも！？

結核は現代にも存在する病気です

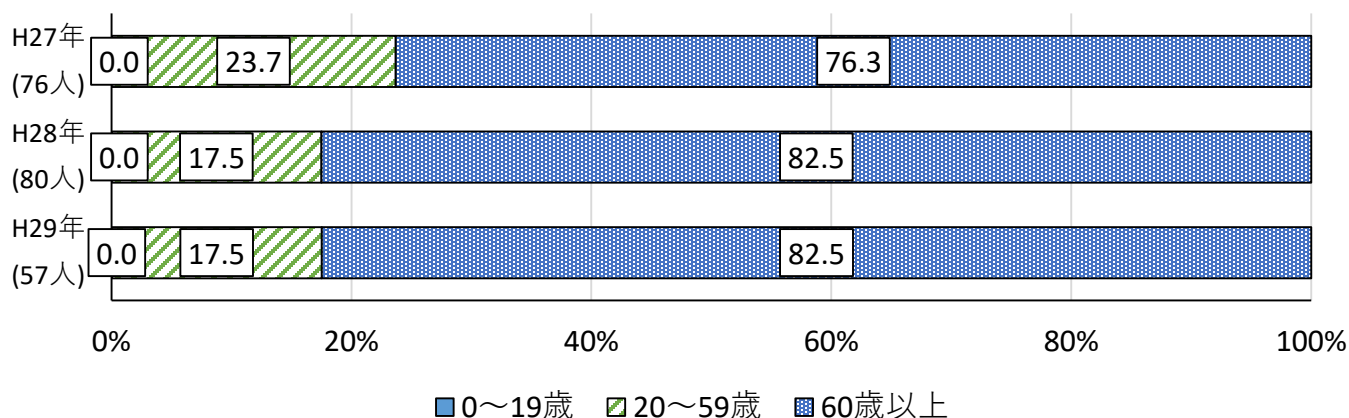


結核ってどんな病気？

結核は「過去の病気」ではなく、今でも国内で毎年約2万人の方が新たに発病している、日本最大級の感染症の一つです。平成28年までの奈良県の結核罹患率は、全国よりも高い値でした。

結核は、感染源となる患者の咳やくしゃみに含まれる結核菌を直接吸い込むことで感染します。結核の初期の症状には、咳、たん等、風邪症状とよく似ているため、発見が遅れがちです。

< 中和保健所における結核の年齢区分別割合 >



中和保健所管内では、平成29年に57人の結核患者が見つかっています。そのうち20～59歳の働き盛り世代の方は10人(17.5%)でした。

特に糖尿病等の病気を患っている人は、病気の進行に伴って免疫力が低下し、結核発病のリスクが高まります。

働き盛り世代の方は、症状があっても仕事の都合等でなかなか受診できず、治療が遅れ、悪化につながることもあります。

問い合わせ
奈良県中和保健所 保健予防課感染症係
〒634-8507 橿原市常盤町605番地の5
TEL 0744-48-3037

結核は発病予防・早期発見が大切

結核を発病しないため、まずは健康的な生活を送るよう心がけることが大切です。また、結核を早期発見することで、大切な家族や周囲の人への感染の拡大を防ぐことができます。

★結核を発病させないために

- ・バランスのよい食事、適度な運動、休息の確保を心がけましょう

★結核を早期発見するために

- ・結核を疑う症状(2週間以上続く咳、たん、微熱、体重減少等)があったときは、早めに病院へ受診しましょう
- ・定期的に(年1回以上)胸部レントゲン検査、必要時には精密検査をきちんと受けましょう